

(2) 施設開放事業

スポーツ活動への機会づくりと施設利用者の増加を目的として、利用頻度の少ない施設・時間帯を有効活用し、多くの市民にスポーツ環境の提供を行うことを目的に事業を実施した。

○ 放課後スポーツ体験教室（無料）

内 容：鬼ごっこを中心に身体のバランス感覚やチームワークを身につける。

日 時：平成29年6月5日(月)～6月26日(月)

毎週月曜日の4回 17：30～18：30

会 場：城ノ平運動公園 多目的広場

参加者：16名（男性11名・女性5名）

○ 放課後スポーツ体験教室（無料）

内 容：スポーツを通じて、身体のバランス感覚やチームワークを身につける

日 時：平成29年6月9日（金）～6月30日（金）

毎週金曜日の4回 17：30～18：30

会 場：高知市針木運動公園 グラウンド

参加者：6名（男性5名・女性1名）

○ 放課後サッカー体験教室（無料）

内 容：楽しくサッカーを体験（ドリブル・パス・リフティング・ゲームなど）

日 時：平成29年6月15日（木）～7月13日（木）

毎週木曜日の4回 17：30～18：30

会 場：高知市土佐山運動広場

参加者：5名（男性5名・女性0名）

○ 体力測定DAY(第1回)（無料）

内 容：文部科学省 新体力テスト 測定・評価

日 時：平成29年6月29日（木） 14：00～16：00

会 場：高知市総合運動場体育館

対 象：20歳～79歳 平均年齢 67.8歳

参加者：9（男性5名・女性4名）

○ 体力測定DAY(第2回)（無料）

内 容：文部科学省 新体力テスト 測定・評価

日 時：平成30年3月6日（火） 14：00～16：00

会 場：高知市東部総合運動場くろしおアリーナ

対 象：51歳～76歳 平均年齢 66.1歳

参加者：9名（男性6名・女性3名）

○ 東部総合運動場・水泳教室及び水中運動

内 容：水泳教室及び水中運動

日 時：平成29年5月～平成30年3月 月・火・木・金 30分～1時間

会 場：くろしおアリーナ 25m プール

対 象：一般利用者

参加者：水泳教室 1, 011名（男性163名・女性848名）

水中運動 569名（男性34名・女性535名）

(3) トレーニング室利用講習の実施

① 月5回の初心者講習

高知市総合体育館では、月5回（第2・第4水曜日：4回と第2日曜日：1回）実施し、年間60回の講習を行った。（受講生1, 262名・1回平均21名）

高知市東部総合運動場（くろしおアリーナ）では、月5回（第1・第3木曜日：4回と第4日曜日：1回）実施し、60回の講習を行った。（受講生は1, 025名・1回平均17.1名）

※講習日が祝日や事業の関係で、変更となった月もあった。

② 利用者指導講習

利用者からの質問やトレーニング上の疑問点などに、指導員が適時説明して指導を行った。また、定期的に巡回を行い、器具・機器の状態を把握することによって、安全性にも気を配った。

(4) 救命講習の実施

施設利用者を対象に、人命救助と怪我などの対処法を学んでもらい、利用者自らが万一の事故に迅速な対応ができることを目的とした救命講習を実施した。

日 時：平成29年7月27日（木） 14：00～17：00

28日（金） 9：00～12：00

会 場：総合体育館 会議室

参加者：24名（男性13名・女性11名）

日 時：平成29年8月 2日（水） 9：00～12：00

9月20日（水） 14：00～17：00

会 場：東部総合運動場 くろしおアリーナ 大会運営室

参加者：52名（男性37名・女性15名）

(5) インターンシップの受け入れ

平成29年8月14日から8月25日までの10日間で、高知工科大学の学生2年生1名を受け入れ、スポーツ教室・スポーツイベントのサポートや窓口対応・グラウンド整備など現場での仕事を総合運動場と東部総合運動場の各施設で体験してもらった。

3. スポーツ振興に関する啓発普及事業（定款第4条第3号）

（1）クラブ支援事業の取り組み

教室終了後に継続活動を促して発足したクラブへの支援を行った。定期的には足を運べなかったが、東部で14回、実技指導を中心にサポートを行った。また、クラブの活性化と各クラブ間の交流を目的にクラブ支援事業として、スポンジテニス・ラージボール卓球の2種目の交流大会を開催して、さらなるスポーツの継続活動を促進させる働き掛けなども行った。

今後についても、教室終了後にクラブ発足の働き掛けを行い、クラブが自主運営できるまでのサポートやクラブのマンネリ化を防ぐための交流事業を計画し、生涯スポーツへのきっかけと継続していくための助言を行っていく。

※ 教室終了後に発足したクラブ数は、平成30年3月末現在で計8種目（スポンジテニス・硬式テニス・ソフトテニス・硬式卓球・ラージボール卓球・ピラティス・バドミントン・ランニング）25クラブとなっている。

（2）広報活動

ア 事業団ホームページの運用

施設利用者等への施設の予約抽選やスポーツ教室の開催、申込抽選結果等の情報、当法人の運営管理に関する情報等をホームページに掲載し、提供してきた。

イ 高知市公広報紙「あかるいまち」や高知新聞の「こみゅっと」にスポーツ教室の開催について掲載し、募集を行っている。

（3）スポーツ安全保険への加入促進

高知市総合運動場及び高知市東部総合運動場の受付において、スポーツ安全保険への加入促進のポスターを掲示し、利用者に周知するとともに、申込書の配布を常時行えるようにしている。今年度は、総合運動場164部・東部総合運動場48部の配布を行った。また、事業団ホームページにて公益財団法人スポーツ安全保険協会の広告を掲載し、更なる加入促進を図る普及広報活動を行った。

（4）スポーツ用具の貸出し

スポーツ用具の貸出しを競技団体・地区体育会や町内会等に行った。今年度は、総合運動場169件・東部総合運動場4件の貸出しを行った。

また、事業団主催のスポーツ教室卒業生が継続活動するまでの一定期間、ラケットやボール等の貸出しを行い、継続活動を促した。

(5) 指導職員の派遣

高知市立介良市民会館よりデイサービス事業として5月・9月・12月の3回の講師依頼を受けて、高齢者73名を対象にレクリエーションゲームや軽スポーツの指導を行った。

また、本年度、新たに香美市小学校体育連盟より、高知県小学校体育連盟夏季共励会への講師派遣の依頼を受け、「コーディネーション能力についての知識とトレーニングの実技指導」について26名の先生に実技指導を行った。

高知市朝倉児童館より講師依頼を受け、10月には朝倉小・朝倉第二小の児童・教職員の33名に、2月には、朝倉小・朝倉第二小・行川学園の児童24名、教職員等12名に「スポーツ鬼ごっこ」の指導を行い、児童と教職員・保護者等との交流が得られた。

高知市立青柳中学校3年団PTAより、親子行事に講師依頼を受け、生徒93名、PTA・教職員27名の参加者に「スポーツ鬼ごっこ」の指導を行った。PTAの方には、タイムキーパーや記録・副審の手伝いのしてもらった。

高知市立高知商業高等学校より講師依頼を受け、スポーツマネジメント科1年生の2時限の授業で、「スポーツ鬼ごっこ」を指導した。スポーツに秀でたクラスであり、チーム内での戦術等の確認を自主的に行うことができていた。

昨年度、依頼のあった高知市立旭小学校放課後児童クラブ保護者会からも依頼を受けていたが、台風の接近により中止となった。

(6) 高知市スポーツ推進指導員 指導者育成事業

「ささえる」スポーツを充実させるために、スポーツ指導者の活躍する場及び機会の拡大を図るとともに、高知市スポーツ推進指導員の資質向上を目的に研修を行った。

平成29年度は6月・7月・8月・9月・11月・2月に、水泳部の研修を6回行った。

(7) スポーツ振興事業への取り組み

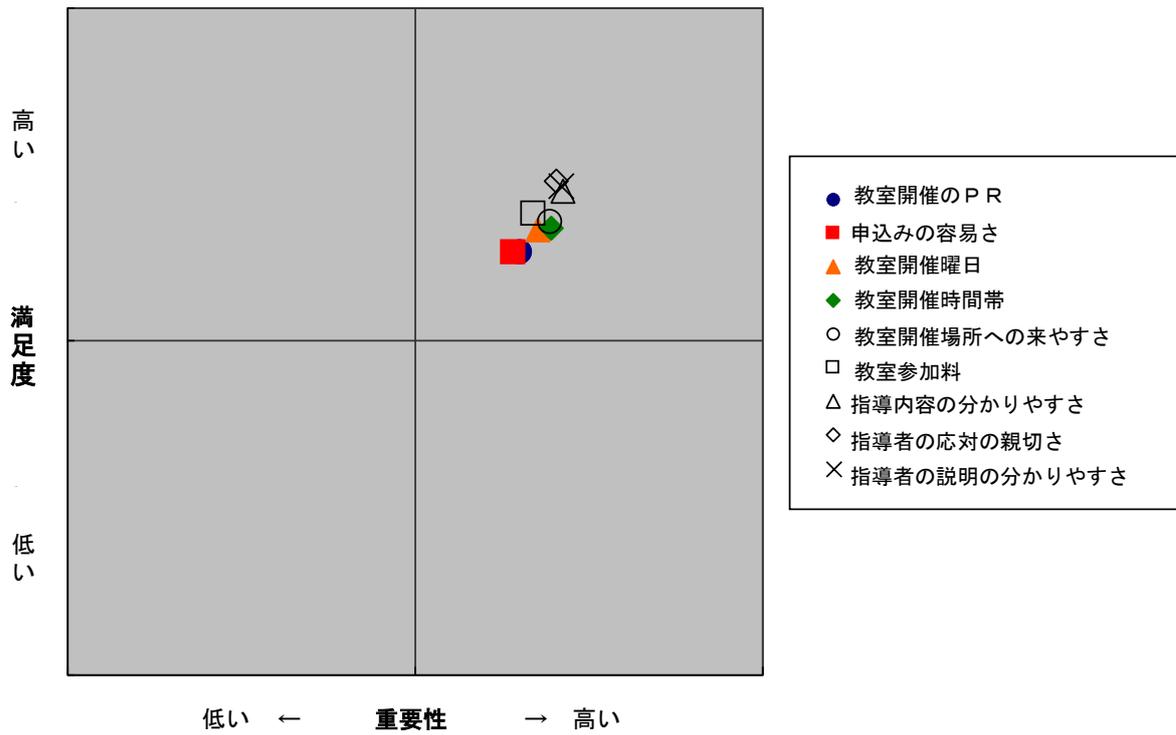
スポーツ教室終了後に事業の評価・市民ニーズの把握をし、事業の見直しや新規事業への参考資料とするため、各教室の終了後に参加者アンケート調査を行った。

【アンケート結果を散布図に表示】

※平成29年度 スポーツ教室 集計 (59教室1,062名)

◇回収アンケート (645名分) 回収率 (72%) 896名に配布

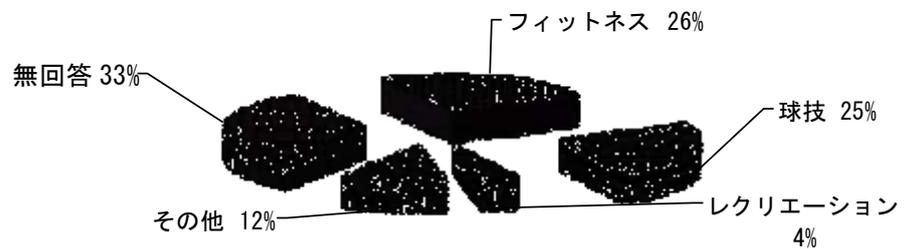
重要性、満足度の相関図(平成28年度 高知市スポーツ振興事業団)



教室に参加した全般的な満足度



希望するスポーツ教室



【考 察】

このアンケート集計は、あくまで全 8 回最後まで参加した方を対象とした結果であり、途中で参加を辞退した方が全参加者 1,062 名中 165 名（約 15.5%）いた。

また、辞退はしていないが、6・7・8 回目または体験教室（3・4 回目）のいずれに欠席をしたため、タイミングが合わずアンケートを渡せなかった方もいた。

一方、アンケートを回収できた方（645 名）の満足度は、「大いに満足」62%・「満足」35%と参加者のほとんどの方に満足していただけた。また、重要性も参加者のほとんどの方が「極めて大切」または「大切」と感じているので、このまま満足度を低下しないように取り組んでいきたい。

特に「指導者の応対の親切さ」・「指導者の説明の分かりやすさ」・「指導内容のわかりやすさ」の 3 項目が非常に高い満足度であり、今後も指導の質をさらに向上していけるように取り組んでいきたい。

また、「教室開催の PR」・「申込みの容易さ」については SNS による教室情報の発信や事業団ホームページからのネット申し込みを今後、引き続き検討し、利用者の利便性の向上を図っていきたい。